



旭小だより

美咲町立 旭小学校
平成30年 5月 10日
文責 光嶋 昭善



私の夢 旭の夢

私の未来 旭の未来

新しい教育課程では、「よりよい学校教育を通じて、よりよい社会をつくるという理念を学校・家庭・地域の三者が共有すること」が必要であるとされています。この「社会」には、地域社会も含まれているはずですが、地域の学校が地域社会をつくるという視点です。この立場から、旭小学校のミッション(旭小学校の使命・存在意義)は、次の3つの生きる力をつけることだと考えました。

1 旭で「生きる力」を育てる

〔旭で学び 旭から学ぶ〕

確かな学力(知)、豊かな心(徳)、健やかな体(体)のバランスのとれた「生きる力」を身につける。旭小学校だけではなく、地域に出て学ぶ。教師からだけではなく、地域の方々からも学ぶ。教科書からだけではなく、地域を学習材として学ぶ。

2 「旭の価値で生きる」力を育てる〔旭で生きる〕

旭のすばらしさを知り、旭のもつ価値を身につけることで、旭を誇りに思い、旭に愛情をもち、旭の価値をよりどころとして、自信をもって生きる。

3 「旭のために生きる」力を育てる 「旭の地に生きる」力を育てる〔旭に生きる〕

旭を支え、旭の未来を創り出す力と意思を身につける。旭への貢献意識をもつ。

(1)旭に住んでいても、旭を出て暮らしていても、旭のよさ・すばらしさを、自信をもって家族や周囲の人に語ることができる。旭にしばしば里帰りする。旭のPRができる。Iターン、Uターンのきっかけづくりができる。

(2)旭を出て暮らしていても、旭にUターンして帰る。

できれば、旭で子育てをする。

(3)旭を出ることなく、住み続ける。

住んでいる地について学習することは、多くの学校で「郷土学習」「ふるさと学習」あるいは「地域学習」として行われてきています。しかし、3(2)(3)の視点が弱いように感じます。

こうした力をつけるために、第3学年以上で行われる「総合的な学習の時間」年間70時間のうち35時間程度を使って、次のテーマで学習します。

3年 旭の地形と気候を生かしたぶどう栽培

なぜ旭にIターン(Uターン)?

4年 海外とつながり、日本の伝統文化を支える旭の育てる林業

5年 小山の棚田から考える稲作文化

6年 高齢化社会を共に生きる

これらの学習では、地域に出て、見学や体験をさせていただいたり、話を聞かせていただいたりしますが、3つのつながりを大切に学習します。

1 物や人によるつながり(空間的ひろがり)

3~5年は産業学習ですが、物流の視点が必要です。旭で作られた物がどのようにして消費者の元に届くのか。なぜ需要があるのか。旭の自然・文化が生み出す物には、よその物にはないよさ・魅力、付加価値があるでしょう。旭は人や物で全国に、世界につながっていて、多くの人々の生活や文化を支えているのです。そこに、旭の可能性があります。経済活動が成り立つこと、生計を立てられること。これが旭で暮らすための重要な条件の1つでしょう。

2 過去・現在・未来のつながり(時間的ひろがり)

現実(今の姿)から学びますが、そこには歴史があります。昔はこうではなかったのだが、今のようになる必然があります。その流れから未来を予想することができるかもしれませんが、何よりも、可能性をつかむことで、展望を描くことができるはずですが、稚拙でも、荒唐無稽に思えてもよいのです。小学生のうちに「こうありたい」「こんなことができるかもしれない」と夢・未来を描いてほしいのです。実現するための専門的な知識や技能は高等学校以上の教育で身につけていくことになるでしょう。将来、こうした知識・技能を身につけられるよう、小学校でも基礎基本となる国語・算数といった教科の勉強もしっかりしてほしいのです。

3 人のつながり(志への共感)

地域の方々から学びます。その方々はなぜ、旭

にいらっしゃるのか。(来られたのか。)なぜ、その仕事に邁進しておられるのか。その志を知ってほしいのです。共感してほしいのです。あこがれてほしいのです。それが、旭の地で暮らすことの重要な素地になると考えます。

住みやすさも大切な条件です。保育園や学校があること、子育て・高齢者等への福祉、図書館や公民館など社会資産はもちろん、コミュニティー(自治会・村つきあい)も住みやすさの要件です。子どもたちも地域の一員として役割を持っています。その意識や実践力も必要でしょう。6年の高齢者福祉の学習はそうした視点から迫ります。

旭を出て行くことを否定するものではありません。日本中どこでも、世界でも活躍してほしい。でも、旭が心柱にあってほしい。帰ることのできる古里・旭、誇ることのできる旭が要るのであれば、旭で暮らし、旭を支え拓く人が必要なのです。その礎を築くような教育をつくりたいと考えています。

子どもたちも教員も、専門家から直接学び、本物に触れることで、発見し知って感動し、じっくり考え、未来への期待を持ってほしいのです。学年のレベルに応じ、自分の考えを持つことを大切にしたいと考えています。それら学びの成果を保護者・家族に、旭の方々に伝えていきたいのです。

学校生活に慣れてきています

1年生

4月10日に入
学してきた1年生



15人です。入学式では「おどろき・ときめき・本気(3つのき)を大切に学校生活を送ろう。」と話しました。これは保育園での「遊び」を小学校の「学び」につなぐ上で大切にしたいことです。感動をもって挑み、とことんやり抜くことのできる子どもであってほしいと願っています。



生活科「がっこうたんけん」では2年生が上手に学校を案内してくれました。2年生は去年のことを思い出しながら1年生を連れて歩き、説明していました。

上級生になった自覚が高まる時です。1年生が2年生を頼りにして、ついて歩く姿もほほえましいものです。

5月2日、遠足は雨で中止になりましたが、「1年生を迎える会」は学校で行いました。全校縦割り班で、3時間



目から5時間目まで、たっぷりと遊び、交流しました。高学年の子どもたちが、1年生が楽しめるように気遣っている姿をたくさん見受けました。

教室で席について45分間集中して勉強することは、まだ難しいでしょう。保育園とはまったく違う生活場面も多くありますが、しっかり話を聞くこと、考えをはっきりを話すこと、背筋を伸ばして座ることなど、保育園でも大切にしていたことをさらに伸ばしながら、小学校のスタイルを身につけていきます。



園でも大切にしていたことをさらに伸ばしながら、小学校のスタイルを身につけていきます。

今後の予定

日	曜	主な行事
11	金	避難訓練 町PTA 連合会総会 19:00 中央公民館
14	月	ボランティア児童顔合わせ会
15	火	集金日
16	水	検尿2次 アフタースクール
17	木	検尿2次 耳鼻科検診
18	金	下校 13:25(町教員研修会のため) 郡PTA 連合会総会 18:00 中央公民館
22	火	クラブ
23	水	一日公開日 体力テスト アフタースクール 学校評議員会
24	木	5年 田植え 9:00~11:30 小山棚田
25	金	交通指導 交通安全教室
28	月	内科検診
30	水	5・6年 雅楽ワークショップ アフタースクール
6/1	金	引き渡し訓練
4	月	児童朝礼 いじめを考える集会 プール開き
5	火	委員会
6	水	下校 13:35(旭小中授業研究会のため)
7	木	歯磨き大会 教育相談日
8	金	交通指導